

広報 いずも

第29号

平成18年(2006)5月25日発行

昨年末に政府がまとめた平成17年の人口動態推計で、日本は、初めて出生数が死亡数を下回る「自然減」となることが公表されました。少子化がもたらす将来への社会不安を実感した人も多いことでしょう。

出雲市も例外ではありません。国より2年早く、平成15年度からは自然減の状態が続いています(下のグラフ参照)。

市では、少子化に歯止めをかけ、活力あるまちづくりを進めるため、4月に地域振興部を創設。地域コミュニティの育成や子育て支援、定住対策などに一元的に取り組む体制を整えました。

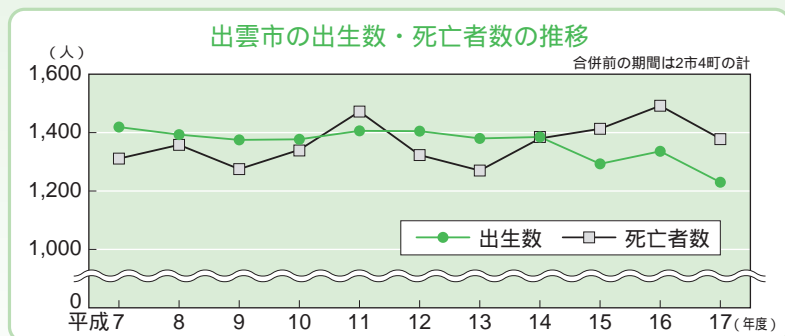
さらに、少子化対策に欠かせないのが、男女共同参画社会の実現です。次のページで、3月に作成した「出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画」を紹介します。

多くの子どもたちの声が響き、だれもが生き生きと輝いて暮らせるまちを目指し、市民一丸となって計画実施に取り組みしましょう。



安心して子育て できるまちづくり

子育てに夢や希望を感じられる環境をつくりたいと、親子で交流できる場『子育て支援センター』を市内9か所に設けています。詳しくは9ページを参照《写真は新町あかちゃんルーム(今市町)》



目次

出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画	2~3
いずもの話題	8
6月4日は市民一斉クリーンデー	9
6月の相談	13